



チャイニーズティーマスター 小田 純也による
世界 中国茶紀行

Vol.2 プール茶の産地 シーサバナ



Vol.1 ではチベットにおけるプール茶についてご紹介しました。続く今回の Vol.2 ではそのプール茶の産地についてご紹介いたします。

茶の起源とシーサバンナ

世界の茶の発祥は紀元前、中国西南部一帯（現在の雲南省・四川省・貴州省）といわれ、雲南省シーサバンナの密林には樹齢 1,000 年を超える野生のお茶の樹がジャングルのように広がっています。このあたり一帯がプーアル茶の産地です。

シーサバンナは中国の最も西南部に位置しており、ミャンマーやラオスと国境を隔てた地方です。元々少数民族が暮らす土地でしたが、明代（1368 - 1644）に中国の一部となりました。



シーサバナの原始古茶区

現在、中国には漢民族と 55 の少数民族が暮らしており、ミャンマーやラオスに近いチンマイという地方にはダイ族が居住し、茶園を所有しています。そこでは、日本で見ると茶摘みの光景とは異なり、自分達よりも背が高いお茶の樹によじ登ってお茶を収穫していました。

茶園のある原始古茶区は海拔 1,100m から 1,600m に位置

し、古くからお茶の樹が生い茂る今なお自然生態系の環境が現存する地域です。お茶の樹は背が高く、苔が生えた根はしっかりと太く、足元は枯葉が埋め尽くされています。農薬などとはまるで無縁の自然放置栽培のような印象です。





「プーアル茶」の名の由来とは

中国料理 香桃の中国茶リストにも欠かせないプーアル茶は、その名で呼ばれるようになる以前から少数民族により栽培されてきた古い歴史を持ちます。少数民族にとってお茶は生活の一部であり、時には交易品として重要な役割を果たしてきたのです。では、どのような交易に使われていたのか、はるか遠方のチベットまで運ばれたその交易の歴史やプーアル茶の名の由来について Vol.3 でご紹介します。



撮影：小田 純也

中国料理 香桃

レストランのご予約・お問い合わせ

TEL 06-6343-7020 (直通)

営業時間 10:00 a.m. ~ 7:00 p.m.

rc.osarz.restaurant.rsv@ritzcarlton.com

ザ・リッツ・カールトン大阪

〒530-0001 大阪市北区梅田 2 丁目 5 番 25 号